新春

明けましておめでとうございます

新しい年一九七九年がやってまいりました。

新しい夜明けとともに、ことしも伊方町の将来像を描いた町づくり、人づくりの青写真が、実現めざして着実に進められて行きます。

私たちの住む町づくりは、私たちの手でつくらなければなりません。

都会に行っている人が「帰ってきたくなる町」、これが理想郷です。

〝理想郷づくり〟は、お互いの協調と英知をたしあい建設しましょう。

ことしのエトは「ひつじ」

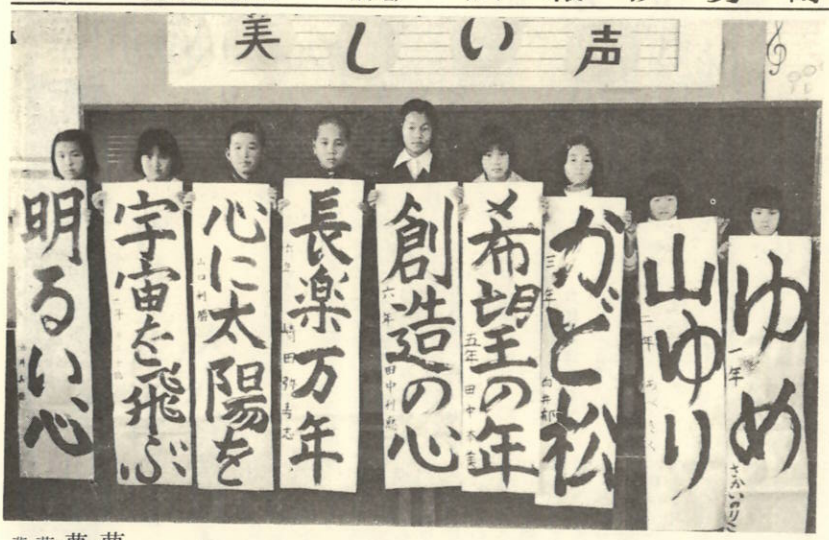
「ひつじ」……といえば、羊毛をかぶらたいっぱいにぶらませ、ヨチヨチ歩きのスタイル、それに愛きょうがあって憎めない顔、何か周囲にあたたかさをただよわせる動物です。

ことしは、エトのひつじにちなみ、温和な年の訪れのような気がします。

また、そうであってほしいものです。

新広報伊方町

発行所
愛媛県西宇和郡
伊方町
編集
町長公室
印刷所
尾上印刷所
八幡浜市天神通
電話 ④0091番



夢夢夢……新年にちなみ、有寿来小学校のみなさんに新しい年にふさわしい自分の好きなことばを書いてもらいました。子どもたちの情操あふれるすばらしい作品ができあがりました。特にこの有寿来小学校（児童数34人）は、書道のうまさは伝統で、明治神宮全国少年新春書道展で、ことしも酒井紀子さん（1年生）が晴れの特選になっているほか、昨年は入選者が3人もでています。

また、このほか、数々の書道展に上位入賞の立派な成績をおさめています。先生方の好指導によって毎週1回、書道の時間を設け、1年生から習っているそうです。これからもしっかりがんばってください。

（年頭あいさつ）

「豊かさ」を求めて

町長　山本長松

昭和五十四年の新春を迎え、ご一同様のご健勝を心よりお喜び申し上げます。

町内のみなさんも、遠く町外でご活躍の方々も、新しい年を希望と抱負で楽しくお迎えのことと存じます。

昨年は、長年の懸案でありました町見公民館ならびに町見診療所の完成を見ますとともに、継続事業として実施しました町道九町二見線、町見中央農道の全線開通工事が行われ、近く開通の予定であります。

また、伊方中学校特別教室、町見武道館、湊浦公営住宅、保健センター等の新築を始め、伊方上水道の改良工事、消防力の強化をいたすとともに、伊方町農協柑きつ共同集荷場、伊方町商工会館新築のための大幅な助成を行い、これらの発展により努力をいたした次第でございます。

ことしにおきましても、原子力発電所誘致に伴う、電源立地促進対策交付金事業を推進いたす所存であります。

また、激動する社会の変化に対応した全人教育、生涯教育を推進させ、学校教育、社会教育などすべての教育の場を通して自主性と豊かな創造力を身につけた、心身ともに健全な住民の育成をしなければならないと考えます。

私は、このときにあたり、伊方町固有の特色を生かし、調和のとれた、豊かで明るく、そして活気に満ちあふれた町づくりを実現いたした決意を新たにいたしております。

このすがすがしい新春にあたり、皆さまのご健勝を祈念いたしますとともに、こんご一層のご支援とご協力をお願い申し上げ、所感の一端をのべ年頭のあいさつといたします。

昨年は、政権の交代など目まぐるしいものがありましたが、深刻な不況は依然として低迷を続けている状態であります。

このような経済情勢の中で本町の重点施策であります、町民福祉の拡充強化、教育資本の整備充実、生活生産資本の整備充実などを強力にすすめてまいりたいと存じます。

愛媛県知事選挙

投票日は1月21日

ことしは、地方選挙の年です。新年明けとともに愛媛県知事選挙が行われます。つづいて県議会議員、町長、町議会議員の各選挙が実施されますが、どの選挙もわたしたちの日常生活に密接な関係をもっている大切な選挙です。

県知事は、いうまでもなく全県民を代表して、県行政の推進をなす重要な地位にあります。

この大切なわたしたちの一票が無効になったり、棄権されたりすることのないようにしましょう。

愛媛県知事選挙は十二月二十七日に告示され、一月二十一日（日曜日）が投票日です。

わたしたちの郷土をよりよくするために、投票日には必ず投票いたしましょう。

また投票をするためには、選挙権を有していなければ投票することができませんが、永久選挙人名簿に登録されている人、選挙のつど行われる「選挙時登録」に該当し登録されていなければいけません。

生かそうあなたの一票

投票時間（朝七時から夕方六時まで）

一月二十一日の投票日は、午前七時から午後六時まで、町内十三カ所でいっせいに投票が行われます。

有権者はそれぞれの投票所へでかけて自分で投票するのが原則であります。

しかし、有権者の中には町外に仕事をもっているなど、いろいろな事情で当日投票できない人たちの一票がムダに捨てられることのないよう、特に設けられているのが「不在者投票」の制度です。

「不在者投票」は前日まで

投票日に旅行や出張、病気などで投票所へ行けない人は、あらかじめ町の選挙管理委員会で不在者投票ができます。

不在者投票ができる期間は、昭和五十四年一月二十日までです。

不在者投票の場所は役場または町見支所で期間中の午前八時三十分から午後五時までで、日曜日、祝祭日でも受付を行います。

町の有権者は六、一八四人

町の有権者数については、十月号の広報で投票区ごとに、その数字を紹介しましたが、昭和五十三年九月一日現在で調査し、九月十一日に選挙人名簿に登録されている総数および男女別の有権者数はつぎのとおりです。

総数　六、一八四人
男　二、八九一人
女　三、二九三人

この数字は、四年前にくらべて百七十八人増えています。

投票所の入場券は、各区長さんを通してお届けしますので、選挙権の有無など疑問の点がある人は町の選挙管理委員会まで連絡してください。

投票所ふえる

九町地区に二カ所

九町地区の投票所が二カ所になりました。

いままで九町小学校一カ所でしたが、町見公民館が新しく許可され二カ所にふえたものです。

それぞれの投票所の対象地区はつぎのとおりになりましたのでお知らせいたします。

町見公民館（第八投票区）
奥・向・畑の三地区

九町小学校（第九投票区）
須賀・久保・西の三地区

このことによって、町内全体で十二投票区から十三投票区になりました。

議会の使命に全力

議長　辻忠義

町民のみなさん、輝かしい新春を迎え、つつしんで新年のごあいさつを申し上げます。

明けましておめでとうございます。

かえりみまするに、町民のみなさま方には、日頃から町政の推進と円滑なる議会運営のために、惜しみないご協力とご鞭撻をいただきます表心より感謝いたします。

激動する今日の社会情勢の中で当面する幾多の重要案件が山積いたしておりますが、これが解決には、こんご一段の努力を要し、議決機関として、町村自治にたずさわる議会の使命は、いよいよ重大であると痛感いたします。

こんごとも町民の信頼に応えるため決意を新たにし、町理事者と議会が車の両輪となって、町民福祉向上のため全力投球いたす所存であります。

町民のみなさまには、こんごともあたたかいご支援とご協力をお願い申し上げますと同時に、みなさま方のご多幸を祈念して、新年のごあいさつといたします。

町議会議員（議席順）

辻忠義
二宮頼志
高野遠
中元清吉
高田健一
加藤惣一
矢野吉衛
篠川英一
永井隆英
木戸市弘
井上鶴敏
重岡雅樹
山口兼夫
古田官男
福田弘
井桜蕉造
兵頭熊一
梶田忠義
岩見正志

議会事務局長

つつしんで新春のごあいさつ申し上げます

◎役場

町長　山本長松
助役　福田直吉
収入役　岩井正
総務課長　木戸五雄
町長室企画公室長　脇田道
財政課長　桝田佳明
税務課長　二宮長幸
福祉課長　二宮一
住民課長　大森次郎
建設課長　山口和哉
産業課長兼農委会事務局長　西田恵明
生活環境課長　成田希儀
調査課長　市尾隆志
国土水道課長　松田勝彦
副収入役　桝田信夫
支所長　林職員
鍛冶一同

◎教育委員会

委員長　栗田龍彦
教育長　高月歌芳
次長　田中発
給食センター所長　兵頭定
委員・職員一同

◎区長

大浜哲夫
中之浜高橋
上甲英次郎
仁田之浜由井日吉
河内萩森新
湊浦一上野二三吉
浦二村田和助
小中浦宮本重秀則
伊方越水沼
亀浦清家和武
中浦宇都宮永稔
川永田一福田
豊之浦坂田和孝
奥光
向水上和則
畑堀内政和
田丸喜一
須賀池田大吉
久保谷村正久仁
西浜岡勝正
二見高野
加周平家照男
田之浦神山実
古屋敷井桜益男
大成塩崎勝
鳥津井本頼雄
宇喜夫

はたち（二十歳）を祝う

晴れて八十四人が大人の仲間入り

成人式＝1月15日

年の始めの行事の一に、ことしの成人者は八十四人。来年にくらべ四人増となっています。

ことしも、例年のように一月十五日中央公民館で挙行されますが、ことしは町内で八十四人（男四十二人、女四十二人）の新成人が、晴れて大人の仲間入りです。

成人式を迎えられるみなさん、さぞいあって全員出席してください。

つぎにことし成人を迎えられた方々を、ページに紹介していますが、この名簿は住民基本台帳から該当者（昭和三十四年一月一日から十二月三十一日までに生まれた人）を調査したものです。

その結果、前記しましたように、ことしも、定着した服装の簡素化、洋服姿で全員出席願うことになっていますので、よろしくご協力をお願いします。

いよいよ大人の仲間入りですが、こんご一社会人として選挙権などの権利が与えられると同時に義務とか責任が生じてまいります。

とかく、自分の権利ばかりを主張して、まわりの人の立場や迷惑を考えない人が多くなっている現世ですが、新成人のみなさんは清新な心で、こうしたことのないよう前進してください。

すでに自分の人生観、目標にむかって進んでいる人、また成人を契機に心気一転を期する人、それぞれあろうかと思いますが、みなさんの人生路がみのり多いものでありますよう祈念致します。

＝新成人のみなさん＝

◎大　浜（男三人　女四人）
菊池昇市　宮藤昭治　山田信一
西橋ふみ　谷口いせみ　宮崎勝子
山下千恵美

◎中之浜（男一人　女二人）
山口靖　上甲千富美　竹村里恵

◎仁田之浜（男九人　女二人）
島本千代治　森貞光正　冨永進
畑田勇　柳子彰則　田中成明　田
上美智夫　猪狩昭夫　渡辺喜一
清水伊代子　亀井昭子

◎河　内（男四人　女一人）
佐竹英男　長野六弘　二宮正光
山口志郎　吉原ミユキ

◎湊　浦（男四人　女四人）
上野浩樹　中田崇人　西田力
松本由美　畑木美恵

◎小中浦（女四人）
井上富士子　尾崎智子　坂本信
子　二宮琴

◎中　浦（女五人）
小笠原洋子　清水弥栄　成田芳
美　林文香　宮部恵子

◎川永田（男三人　女三人）
阿部俊蔵　中野正二　福田哲司
西平知子　福田智子　古川由美

◎豊之浦（男五人　女四人）
高石勝仲　林勝範　正岡英彦
峯田道彦　渡辺信二　井上美
井上由子　宇都宮マキ　河野妙美

◎伊方越（男四人）
門田太　崎野昌治　辻正道　長
亀崎

◎亀　浦（女一人）
清家美津江

◎奥（女三人）
川野千代美　川端富士子　桑元
由美

◎向（男三人）
六間目彰則　福内忠利　山下好
幸

◎須　賀（男一人　女一人）
山口真司　菊池浩子

◎久　保（女三人）
井上芳美　山口京津彦　樹田仁
代

◎喜（女一人）
高田そのみ

◎二　見（女一人）
平尾寿忠

◎加　間（女一人）
林綠

◎古屋敷（女一人）
祖母井明彦

◎田之浦（男四人）
神山竹利　松江探　山下金蓉
山岡格

◎鳥　津（男一人）
西村初男

◎大　成（女一人）
古田きぬえ

国民年金に加入しましょう

満二十歳になると、国民年金に加入している人は加入する必要はありませんが、他の制度の配偶者や昼間部の大学生のみなさんは、希望することによって加入することができます。

国民年金に加入して、老後の容易な生活設計は、ものです。

保険料は、一カ月二千七百三十円（四月から三千三百円）です。

加入手続きや年金の相談は、役場住民課年金係または町見支所へおたずねください。

若い人は、とかく「老後なんてまだまだ先の話」と思いがちでしょうが、将来受け取る年金は加入するほど早ければ早いほど有利なのです。

こんご、老人のしめる割合は増える一方で、老後の生活設計は、若いうちから考えておきましょう。

そのためにも、二十歳になった機会に「国民年金」に加入しましょう。

ただし、厚生年金など他の公的年金に加入している人は加入する必要はありません。

高門氏　百万円寄付

救急医療対策推進基金へ

西門嘉夫留氏（川永田＝県議会議員）が、ご母堂様の死去にともなう香典返しとして百万円寄附されました。

町では、寄附金の使途について検討した結果、救急医療対策推進基金へ繰入れ、有意義に活用させていただくことにしました。

ありがとうございました。

この救急医療対策推進基金は、昭和五十一年に小川文一郎氏（愛媛電力）から百万円、故平尾順一氏（四国電力）から十万円の寄附金をもとに新設されたものです。

五十二年度決算で百十一万七千円の基金額となっており、今回の寄附金をプラスしますと二百十一万七千円になりました。

晴れの表彰!!

◎日赤県支部創立九十周年記念大会で

十年以上の在職功労者
伊方町分区長　山本喜松氏

十年以上青少年赤十字指導者
豊之浦小教諭　河野貴一氏

十年以上社会目標達成
伊方町分区（分区長は町長）

八年以上の集団献血団体
伊方町青年団協議会

日赤愛媛県支部創立九十周年記念大会（十月一日松山市民会館）、高校および第二十六回愛媛県社会福祉大会（十月二十五日松山市民会館）、西宇和郡老人クラブ指導者研修会（十一月二十八日八幡浜県事務所）の席上、つぎの方々と団体が晴れの表彰、あるいは感謝状などが授与されました。

以上、それぞれ白石音樹日赤愛媛県支部長から表彰されました。

金色有功賞

山本長松町長が十年以上伊方町分区長を勤め、同社事業の遂行に多大の功績があったことにより、日本赤十字社から「金色有功賞」が授与されました。

◎県社会福祉大会で

二宮郁子さん（大成）が、長年民生委員、児童委員として活躍され、その功労により県社会福祉協会長から表彰。

また、社会福祉協議会等団体関係功労者として町の社会福祉協議会山本長松会長が表彰されました。

◎西宇和郡老人クラブ指導者研修会で

渡辺菊義氏（河内）と上島竹松氏（加周）が、老人福祉功労者として郡老人クラブ連合会長から表彰。川永田老人クラブ（山口梅男会長）も優良老人クラブの表彰を受けました。

新しい20歳　自己発見への"旅立ち"

冒険家　植村　直己

成人式を迎えられたみなさん、おめでとうございます。

これで、晴れておとなの仲間入り――新しいスタートですね。

私の二十歳のころといえば、明

が、私はただ、二十歳のころに見つけた自分の道を、がむしゃらに突き進んできたにすぎません。

二十歳前後というのは、いわば"自分に出合う時"なのだと思います。自分は何をしたいのか――この"未知"の部分に照明を当て探し出し、それにかける――それは新しい自己発見への"旅立ち"であると同時に、未知なる自分との闘いの開始でもあるのです。

私の場合でいえば、昨年の北極点到達とグリーンランド縦断は、まさにそうでした。

犬約十九頭と生命を共にした四、〇〇〇キロの行程は、ひと言でいえば、さまざまな障害との闘いの連続でした。

マイナス四〇度――顔の凍傷はハチに刺されたように痛み、ひろげ切りたい衝動にかられながら、じっと耐える。シロクマに襲われたときは、もうダメかと思った。

それにもまして私を苦しめたのは、苦悩に陥ったときに頭をもたげてくる"弱い心"――「もう、この旅はよそう」という、もう一人の自分との闘いでした。自分一人しかいない氷の上で、それとそ闘をくいしばってこらえる……これが一番つらかった。

目の前に北極点があるのに、氷が割れて何日も進めない。最後の最後まで、自分との闘いでした。

けても割れてもピッケルを振り、ひたすら山登りに青春をかけていました。それが、いつの間にか冒険家といわれるようになりましたが、私はただ、二十歳のころに見つけた自分の道を、がむしゃらに突き進んできたにすぎません。

二十歳前後というのは、いわば"自分に出合う時"なのだと思います。自分は何をしたいのか――この"未知"の部分に照明を当て探し出し、それにかける――それは新しい自己発見への"旅立ち"であると同時に、未知なる自分との闘いの開始でもあるのです。

私の場合でいえば、昨年の北極点到達とグリーンランド縦断は、まさにそうでした。

犬約十九頭と生命を共にした四、〇〇〇キロの行程は、ひと言でいえば、さまざまな障害との闘いの連続でした。

マイナス四〇度――顔の凍傷はハチに刺されたように痛み、ひろげ切りたい衝動にかられながら、じっと耐える。シロクマに襲われたときは、もうダメかと思った。

それにもまして私を苦しめたのは、苦悩に陥ったときに頭をもたげてくる"弱い心"――「もう、この旅はよそう」という、もう一人の自分との闘いでした。自分一人しかいない氷の上で、それとそ闘をくいしばってこらえる……これが一番つらかった。

目の前に北極点があるのに、氷が割れて何日も進めない。最後の最後まで、自分との闘いでした。

おれには、これしかない。こんなことで死んでなるものか。

この切実な思いが、氷上の百六十五日を支えてくれました。

苦しかった半面、踏破した後の満足感は、何事にもかえがたいものです。

みなさんのような若い時にこそ、自分の全力を傾けて挑戦できる何かを見いだし、それにかける。やりとげるためには何を犠牲にしてでも、何をがまんしなければならないか――自分との闘いは、こうして始まるのです。

みなさんには、それができる。まぶしいばかりの若いエネルギーが満ちあふれているのですから。

私も、みなさんに負けないように、今年は南極点の単独踏破を目指します。

人

昭和53年11月末現在
世帯数2,538戸（－5戸）

人口　8,968人（男4,288人（－6人）、女4,680人（－11人））（－17人）

えんむすび

昭和53年11月1日
11月30日

お誕生おめでとう

よい子に育ってください

昭和53年11月1日
11月30日

おくやみ

昭和53年11月1日
11月30日